

平成29年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

平成30年3月30日

報告者	学科名	造形デザイン学科	職名	教授	氏名	久保田 厚子
研究課題	共同研究「現代日本陶芸のデザインと技法」					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	久保田厚子	造形デザイン学科教授	陶磁器デザイン	研究代表	
分担者	作元朋子 豊福誠 栄木正敏 栗原慶 及部奈津 関洋平	造形デザイン学科講師 東京芸術大学美術学部教授 栄木正敏デザイン研究所主宰 鳴門教育大学大学院准教授 ミシガン大学教授 瀬戸内市立美術館学芸員	現代アート 色絵磁器 クラフトデザイン 青白磁 現代美術史 現代美術史	作品写真撮影他 作品写真撮影他 作品写真撮影他 作品写真撮影他 英語翻訳監修 企画展準備		
研究実績の概要	<p>本共同研究は3年間継続しプロダクトデザイナーや現代陶芸作家の参加を得た。2017年7月14日に齋城卓により12点の作品撮影を本学3212演習室で行い、2018年2月17日に2回目の10点の作品撮影も実施した。2019年1月13日（日）から2月3日（日）に瀬戸内市立美術館主催で共同研究作品特別展を開催する準備として、岡山県立大学デザイン学部展示ホールの改修に伴い、65台の作品展示台の廃棄計画を受け、瀬戸内市立美術館館長から岡山県立大学デザイン学部長に作品展示台譲渡依頼を行い、2017年9月25日に廃棄予定展示台の修繕と梱包を共同研究メンバーが行った上で、9月29日にトラック便で移送した（図1,2,3）。平成29年度地域貢献研究助成費によって、及部奈津ミシガン大学教授の監修で同大学博士課程インターン生が英語翻訳を行った（図6,7,8）。ウェブサイト「現代日本陶芸のデザインと技法2018」に11の陶磁器デザインと技法がアップロードした（図4,5）。現在陶磁器デザインと技法のウェブサイトは広く公開されている。</p>					
						
	図1 梱包された展示台		図2 トラック積み込み		図3 瀬戸内市立美術館	

※ 次ページに続く

ウェブサイト「現代日本陶芸のデザインと技法 2018」



研究実績
の概要

図4 ウェブサイト 2018 HOME

図5 ウェブサイト 2018 ABOUT



図6 英語翻訳版画面



図7 語翻訳版画面



図8 語翻訳版画面

成果資料目録

<http://cdatoma.tumblr.com/post/139410136922/about>
<http://cdatoma.tumblr.com/tagged/study>